

事業番号	02 10 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	バス等振興対策事業費		部局	企画振興部交通政策局	課・室	交通政策課
			実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

・人口減少の本格化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による利用者の減少や交通事業者の経営悪化、運転手をはじめとする担い手不足の深刻化など、路線バスを始めとする公共交通を民間事業者の独立採算により維持していくことは困難な状況。  
 ・観光客を含む利用者の利便性向上を図る取組の必要性が増しているが、公共交通機関のキャッシュレス化や公共交通情報のオープンデータ化が遅れている。

## 2 事業目的

・自家用車に頼らなくても大きな不便を感じずに、誰もが安心して通院・通学などの日常生活がおくれるよう、持続可能な地域公共交通の確保・維持を図る。  
 ・利用者が公共交通機関で目的地まで行く際に、円滑に移動できる環境を整備する。

## 3 事業目的を達成するための取組

- ①地域間幹線バス路線の確保・維持
- ・地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者に対し、運行欠損費を補助
  - ・バス車両のバリアフリー化や老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者に対し、低床バスの減価償却費等を補助
  - ・【拡】路線維持のため、対象路線を地域間幹線から市町村を跨ぐバス路線に拡大し、県が購入したバス車両を乗合バス事業者へ貸与
- ②持続可能で最適な地域公共交通システムの構築
- ・【拡】複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援する事業の補助対象を利便増進計画策定へも拡大
  - ・交通専門家と多様な分野（ICT,観光等）の知見者を市町村へ派遣
  - ・【新】深刻化するドライバー不足に対応するため、バス・タクシー・トラック協会が行うドライバーの人材確保の取組を支援
- ③利用しやすい公共交通の実現
- ・【拡】県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、路線バスへの地域連携ICカードの導入を支援するとともに、タクシーへも支援を拡大
  - ・【新】県内公共交通機関の利便性向上のため、事業者や市町村が行うバスロケーションシステムやデジタルサイネージの導入及び路線バス待合環境の整備（停留所上屋、机・椅子、電源、wifi等）を支援

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	22.7	22.9	↑	24.4	↑	22.9		地域間幹線バス路線を維持するため、1日当たり輸送量を指標として設定し、直近の実績値を維持することを目標とする。	
②	指標なし										
③	地域連携ICカード導入に対する支援件数	件	—	—		1	↑	3		公共交通機関のキャッシュレス化を推進するため、地域連携ICカード導入に対する支援件数を目標として設定。R6年度は支援を行うすべての地域について導入されることを目標とする。	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	★公共交通機関利用者数	千人	2019 (R1)	98,307	2020 (R2)	69,077	2021 (R3)	72,438	2026 (R8)	100,000
1-4②	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	地域公共交通計画を策定している市町村数(累計)	市町村	2020 (R2)	35	2021 (R3)	36	2022 (R4)	42	2027 (R9)	53

## 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R6年度	予算案	2月上旬公表予定		0			8.0
	要求	1,416,796		1,416,796	1,325,857		
R5年度	238,437	765,288	325,605	1,329,330	705,072	8.0	
R4年度	25,484	619,066	878,100	1,522,650	569,620	4.0	

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部交通政策局	課・室	交通政策課
-----	------------	----	------------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	地域間幹線バス路線確保維持事業	271,222 千円	379,539 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 732,056 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 補助件数（想定）：8件（8者 29系統）、補助総額：182,727千円	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 補助件数（想定）：3件（3者 13台）、補助総額：18,651千円	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	【拡】県内バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を所有し乗合バス事業者が運行する「県有民営」の手法を、地域間幹線系統を走行するバスに加え、長野県地域公共交通計画に位置付ける路線系統を走行する車両を対象として拡大 購入台数（想定）：19台、購入総額：530,678千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	地域公共交通最適化推進事業	21,268 千円	24,268 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 9,176 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	持続可能で最適な地域公共交通の在り方検討事業	負担金	交通事業者・国・市町村等とともに、持続可能で最適な地域公共交通の在り方について検討を行い、抜本的な見直しを推進 負担金額：3,528千円	
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	【拡】地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画・利便増進計画策定に係る費用を支援 補助件数（想定）：2地域、補助総額 5,648千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	738 千円	743 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 561 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対して暮らしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等、多様な連携に対する助言等を行う専門家を派遣 専門家派遣市町村数（想定）：3市町村	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	ドライバー等人材確保支援事業	— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 13,709 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ドライバー等人材確保支援事業	委託	【新】持続可能な地域公共交通を実現するため、バス・タクシードライバーの人材確保（採用活動等）の取組への支援 経営改善・採用力向上セミナーへの参加者：120社、マッチングイベントの参加者：100人	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
5	運輸事業振興助成補助金	317,258 千円	322,962 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 322,962 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 補助件数（想定）：2件（2者）、補助総額：322,962千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
6	みんなのタクシー利活用促進事業	6,600 千円	6,600 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 15,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	タクシー事業支援総合交付金	補助金	【拡】タクシー事業者の経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組等を支援 UDタクシー導入補助台数（想定）：20台	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
7	交通空白地域における輸送の確保事業	— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 20,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通空白地域における輸送確保対策事業	委託	【新】自家用有償旅客運送者や交通事業者の事業の棲み分けや協力等が円滑に行えるよう、各事業者が意見交換の場を設けるとともに、自家用有償旅客運送の制度の仕組みや手続きの詳細を網羅したマニュアルの作成 意見交換の場 年4回、参加者数 総計80人	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
8	交通GX加速化のための電気バス・タクシー導入支援事業	— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 50,492 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	電気バス導入支援事業	補助金	【新】県内バス事業者に対して、長期的な輸送コストの負担軽減やCO2排出量削減による環境負荷の軽減を図るため、車両及び充電設備の導入を支援 補助件数（想定）：バス3台、補助総額 42,425千円	
2	電気タクシー導入支援事業	補助金	【新】県内タクシー事業者に対して、長期的な輸送コストの負担軽減やCO2排出量削減による環境負荷の軽減を図るため、車両及び充電設備の導入を支援 補助件数（想定）：タクシー4台、充電設備4か所、補助総額 8,067千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
9	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	— 千円	31,176 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 237,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域連携ICカード導入支援事業補助金	補助金	【拡】県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、乗合バス事業者等に対し、地域連携ICカードの導入に係る費用を支援 補助件数（想定）：3件、補助総額 236,100千円	
2	タクシー交通系ICカード導入推進事業	補助金	【新】県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、タクシー事業者に対し、交通系ICカード決済対応に係る費用を支援 補助件数（想定）：2件、補助総額 1,277千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
10	交通DXによる公共交通利用転換事業	— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 15,463 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通DXによる公共交通利用転換事業	委託 補助金	【新】事業者及び市町村が行うリアルタイム情報提供手段（バスロケーションシステム・デジタルサイネージ）の導入や路線バス待合環境の整備を支援するほか、インターネットの経路検索サービスへ情報掲載をするための研修会等を実施 補助件数（想定）15件、研修会8回開催	